

～カンファレンス/ファシリテーションを学ぼう～

ファシリテーションって？
カンファレンスにどういかなの？

研修内容

ファシリテーションは、スタッフやチームの意見をひきだしていくための技法です。ファシリテーションの講義は興味深く、面白い、新たな認識を得られました。講義と文献から学び、より良いカンファレンスをめざして企画書を作成しました！（WEB開催です）

事前学習文献

都立松沢病院の「拘束最小化」の文献は、“人の尊厳” “チームでの取り組み” が大きな柱としてあり、引き込まれるよう読みました。



講師：医師部事務局長 / 薬剤師
藤井 元博 氏

薬剤師を20年の職歴後東葛病院の医師部事務局長をされています。教育/コミュニケーション、社会学、言葉に関心があり、家事をかなりされるそうです。2013年日本コーチ連盟認定コーチ応用コース修了。2015年東京大学インタラクティブ・ティーチング修了。シンクタンク未来教育ビジョン事務局長

講義 内容

ファシリテーションとは 会議を円滑に進行する ファシリテーターは、ファシリテーションをする人

- コミュニケーション：
雑談がたっぷりできる集団でないと、会議ま
でにいきつかない。
 - 会議：
問題発見と解決、意思決定までいくには、
報告・連絡がたっぷりされていることが大
切。
 - 話す時：
私達は自分の都合、不都合で話している。
このことを知っていることは大切。
 - 場のデザイン：
ゴールの設定をきっちりする。
 - 決定・共有(合意)：
話し合いは意見をたっぷり出さないと、きち
んとした決定とならない。
 - 聴く：
安心や信頼がないと発言できない。安心感が発
言意欲を高める！
 - 合意形成のデザイン：
工事の工期のように具体的にしておく。
多様な視点をもつためには、“対立”も必要。
“チーム全体で支持できる決定”をチーム
全体で作ります。
- ☆カンファレンスをいいものにしたいけど・・・
発言する人が同じだったり、強い発言に押され黙って
しまったり、内容がマンネリ化だったり・・・
- そんな主任たちのカンファへの取り組みや試行錯誤
が今回のファシリテーションを学ぶ研修へ繋がって
います。

講義・意見交流から、振り返りによる新たな気づき、自分にはない視点からの学びがたくさんありました！そして、それぞれのチームの課題を具体的にしました。

経験あるスタッフもっている第六感をチームで共有するには、可視化して意見を引き出せるカンファレンスにしたい。

話をしっかり聴くことや、うなずきなどを普段から意識して実践したい。

目的達成のために、一つずつ、小さなことから乗り越えて困難なときは違う方向から粘り強くアプローチしたい。
集団の難しさを、皆で知恵を出し合う利点へと変換したい。

カンファレンスで何をしたいのか？どんな議論や意思決定をしたいのかを明確にして(デザイン)臨みたい。

訪問看護はとても素敵な仕事！
働きながら魅力を感じています。
利用者さんの願い・思いに寄り添うために...
いろんな考えの人が居て柳の木のように、困難な時も柔軟に
しなやかに対応していけるチームづくりをしていきたいです。

たんぽぽ訪看ST新松戸 主任S

